



The Rotary Club of Yahata West Japan

WEEKLY REPORT



2020. 9. 4 NO.2565

八幡西ロータリークラブ



Rotary Opens Opportunities
ロータリーは
機会の扉を開く

2020～2021年度

会長 谷 良樹

副会長 波多野正信

幹事 紙上 義全

《会報委員会》

松尾和典 中村克己 太田信博

川越和宣 高嶋雅樹 廣田 豊

RID2700地区古賀英次ガバナーメッセージ

「新しいロータリーは機会の扉を開く」

八幡西RC谷良樹会長メッセージ

「健康第一」

例会場・事務局 北九州市八幡東区西本町1-1-1千草ホテル

TEL093-681-0694 FAX093-681-0984

例会日：毎週金曜日 12:30～13:30

次回例会のお知らせ 9月11日(金) 「“合唱組曲北九州”の感動を!」
合唱組曲北九州をうたう会 会長 鹿毛 浩之 様
(元 九州工業大学副学長)

本日の例会 2020年9月4日(金)

1. 君が代斉唱
2. ロータリーソング “2700のマーチ”
3. 来客紹介
4. 出席状況の報告
5. 祝誕生 舟木和博 君 S43年9月4日
6. 会長の時間
7. 各委員会報告
8. ニコニコボックスの報告
9. 幹事報告
10. クラブフォーラム(ロータリー情報について)

ロータリー情報委員長 赤田 隆一 君

会長の時間 八幡南RC会長 福山 岳彦 君

古賀ガバナーようこそおいで頂きました。
一時はどうなる事かと思っておりましたが、無事、今日の公式訪問を迎える事が出来ます事を大変うれしく思います。また、私達の親クラブでもあります八幡西RCの皆さん、ようこそお越し頂きました。今年には会長の研修も遅れ遅れになりまして、先週の日曜にウェブで朝の9時半から17時までガッツリと研修も終わりました、なんとか会長にならさせて頂きました。古賀ガバナーにおかれましては過分なるニコニコを頂きましてありがとうございます。それからネクタイ、16人の人の名前が書いてあり千人針のように大事にしております。コロナで休みも無くクラブの運営も進んでおります。今週からIDMが始まりました。テーマが「クラブが目指す5年後の未来像」ということで戦略計画実案カードを配っています。第一回目は現状分析ということで、クラブの長所短所を話しあって頂きます。4回を通して長期計画が出来ればと思っています。

前例会の記録 2020年8月27日(木)

出席報告

例会食事カロリー	—	Kcal
・会員数		47名
・当日の出席者		36名
・ゲスト数席者		3名
・ビジター数		名
・会員出席率		76.60%
・前々例会の修正出席率		87.23%

会長の時間 八幡西RC会長 谷 良樹 君

皆様こんにちは、
八幡西ロータリーで今期会長を仰せつかっています谷良樹と申します。
まずは古賀ガバナー、松浦地区副幹事 お暑い中、またコロナの終息が見込めない状況の中訪問ありがとうございます。
また八幡南クラブの皆様、会場の運営、設定などお世話になったことを深く感謝いたします。
コロナの影響で公式訪問も危ぶまれた中、こうして開催されたことに安堵しています。
7月からもう2ヶ月経ちますが、まだ八幡西ロータリーエンジンは始動していない気分です。
例会以外何も活動していないことが原因でしょうか？
本日のガバナーの講話で、ロータリー活動が活発にできるように喝を入れて頂けるように宜しくお願いします。



「ガバナー公式訪問高話」

国際ロータリー第2700地区 ガバナー古賀英次 君(柳川RC)

八幡南RCとの合同例会 クラウンパレスにて

創立53周年の八幡西RC、そして創立41周年の八幡南RC、両クラブの公式訪問に各会長をはじめ会員の皆様方から暖かく迎えて頂き、感謝を申し上げます。2700地区におきましては、地区研修委員会、ロータリー財団委員会委員長、危機管理委員会、岩崎員久様、職業奉仕委員会、神尾康生様、インターアクト委員会、青少年交換委員会、三島靖男様にご指導とご尽力をいただいておりますこと、感謝を申し上げます。ガバナーになるためには、2年前から研修を受けまして、最後にアメリカで国際協議会という、パートナーと共に一週間研修を受ける事が義務付けられております。今年も例外なく、1月19日から26日までアメリカのサンディエゴで研修がありまして、世界中から530名のガバナーエレクトとパートナー、研修リーダー総勢2000名での1週間の研修を受けてまいりました。中身は、朝の9時と2時に2000人の全体会議がありまして、その間に5回の分科会がございます。ほとんど缶詰状態でありまして、2時間だけ1週間間に時間が空きまして、日本のガバナーエレクトの皆様方30余名で、避暑地で軍港でもあるサンディエゴの、ミッドウェーという空母を見学出来るようになっており、そこを2時間かけて見学してきました。最終日の26日には日本の同期のガバナーエレクトと「さあ、自分の地区に帰って、自分の地区のロータリアンとすばらしい一年間を迎えて頂こう」と誓い合って日本に帰ってきました。しかし、あれよあれよという間に、コロナ禍に巻き込まれ、会長幹事の皆様方には、PETSも中止とさせていただきます。クラブのシニアリーダーの皆様方には、地区研修協議会も中止し、DVDとテキストでの研修会とすることを、温かくご支援を頂きました。この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。本日は、卓話の時間を頂き、地区のテーマ、そして方針について述べさせて頂き、その後、今年日本のロータリーにとって、大変おめでたい年でありまして10月20日が東京RCが100周年を迎えるという事から、日本のRCが日本に根付いて、100周年になるということで、日本のロータリアン9万人で100周年を祝おうということになっております。今日は日本のRC100周年の映像を作ってきました。それをご覧いただきたいと考えております。

早速、地区のテーマと方針に移らせていただきます。2700地区のテーマは「日本のロータリー100周年、新しいロータリーは光の扉を開く」といたしました。これは、国際ロータリー、ボルガー・クラーク会長のテーマに新しいを付けたものです、つまり、我々の進道は常に、新しい世界へ一歩踏み出してきたことが現在のすばらしい世界を作ってきたことに起因すると考えるからです。2020～2021年の2700地区の見据える方向は、まだ我々が踏み出していない新しい世界を見据えて、踏み出すこととなります。このような考えから、「日本のロータリー100周年、新しいロータリーは光の扉を開く」と宣言させていただきます。次にクラブの目的をお伝えいたします。クラブの目的はロータリーの目的を達成し、五大奉仕に基づき、成果あふれる奉仕プロジェクトを実施し、会員増強を通じて、ロータリーの発展に寄与し、ロータリー財団を支援し、クラブレベルを超えリーダーを育てる事であり、この目的を踏まえ、次の方針を参考に、クラブの活動をして頂きたいと思っております。世界が大きく変化しロータリーも1905年結成以来のシカゴの状況とは一変し、当時では信じられないような世界へと発展を遂げ、現在、新しい文明の入り口にいるような世界の大きな変化の中、国際ロータリーは今年度、新しい5年間の戦略計画を発表いたしました。それは、「ロータリーのビジョン声明として、私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って、行動をする世界を目指しています」と発表し、行動計画として、①より大きなインパクトをもたらす。②参加者の基盤を広げる。③参加者の積極的なかわりをする。④適応力を高める。これを実行するための精神的なロータリーの柱は、最もよく奉仕する者、最も多く報われるを基に、中核的価値観、親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ、これらをロータリアン共通の価値観として行動計画を実行してまいります。これを受けて、2700地区は2020年7月から2025年6月までの5年間の地区戦略計画を定めました。①マイロータリーの活用と推進。②TLPの定着。③CLPの推進。④地区研修委員会の充実。⑤RLIの推進。⑥新クラブの結成。⑦ロータリー財団への寄付と活用。⑧公益財団法人ロータリー米山記念奨学館への寄付。この2700地区の政略計画を基に、今年度の2700地区の取り組みとして、重点目標①マイロータリーの登録・活用。②TLPの定着。③CLPの推進。④研修委員会の設置。⑤RLYの推進。⑥新クラブの積極的結成。2つの年次事業は、①日本のロータリー100周年事業。②国際大会対話積極的参加。これを地区内3200名のロータリアン一人一人の皆様方のご協力を頂きながら、前進してまいります。そして、新しいロータリーを進めるにあたっての、私の思いといたしまして、我々を取り巻く、世界の環境も大きく変化する中、我々ロータリーも、大きく変わり、新しい世界へ前進しております。ポールハリスも「世界は常に変化している。ロータリーはこの世界と共に変化をして成長していかなければならない。ロータリーの物語は幾度も書き換えられなければならない。」と言ってまいります。しかし、人が人である以上、人間が人の心を持つ以上、この世の中に、不変の真理があるのもまた真実であります。その不変の心を生み出すものが1905年、2月23日あのシカゴのネオンモール街、ユニティビル711号室に集まった4人のロータリアンの純粋な愛の中から生まれた、奉仕の心が原点であると思うのです。2700地区にとって、新しく生まれる第一歩の年になります。それを実現するために、新しいロータリーの光の扉を開いていただきたいのです。そして、我々の行動が、愛する家族、愛する社員、愛するクラブ会員、愛する地域の方々、愛する世界の人人々による変化をもたらしたとき、ロータリーは永遠に光り輝くのです。結びに、2020～2021年度が谷会長、福山会長をはじめ、八幡西RC、八幡南RCの会員の皆様方、お一人おひとりにとりまして、最高の有意義な一年になりますことを心より念願をし、地区のテーマと方針に代えさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

歴史を振り返りますと、ただただ、先輩方に感謝するばかりでございます。

これをもちまして、ガバナー公式訪問を結ばせて頂きたいと思っております。両クラブに私から100周年を記念しての記念品を贈呈させていただきたいと思っております。中身は100周年の旗でございます。

【ニコニコボックス】

・本日はお世話になります。よろしくお祈りします。
国際ロータリー第2700地区ガバナー古賀英次君(柳川RC)

・皆さん、お世話になります。
第三グループガバナー補佐、三牧十九生君(八幡中央RC)

・国際ロータリー第2700地区ガバナー古賀英次君を歓迎して
井口、伊豆、岩崎、紙上、浜崎、藤本、三島、波多野、村山、
安東、有松、是此田、谷、河島、江藤、金久保、江戸、太田
吉彦、吉田浩二、藤村、廣田、富田、八尋、吉田総次郎、
中村、稲富の諸君

